

平成28年度 事業計画(案)

国土交通省(観光庁)によると、2015年に日本を訪れた外国人旅行者は1974万人(推計)で、前年比47.1%増加し、3年連続で最高を更新しております。円安進行による訪日旅行の割安感や対中関係の安定を背景に2000万人の政府目標(2020年)をほぼ前倒しで達成しております。

外国人旅行者の傾向としては、アジア地域が1637万人と全体の82.9%を占めており、中でも東アジアが1420万人で71.9%に達しております。国、地域別では、1位が中国、2位が韓国、3位が台湾と続いております。

中国人旅行者の派手な購買行動は社会現象としても注目され、「爆買」が昨年の流行語大賞となっております。

さて、道内への訪日外国人来道者数は、定期便の就航や免税店の増加や高速道路の開通による交通アクセスの向上などもあり、昨年上半期で904千人(+38.3%)となっております。道内の雄大な自然・豊かな食・温泉などを目的に観光しており、今後、更なる受入れ環境整備の充実と「安心・安全な北海道」のPRに努めていかなければなりません。

●ポロト地域のアイヌ民族博物館への対策としては、平成27年度は前年度と比較するとタイは減少したものの、韓国、中国等の訪日外国人が増加したことにより、海外客が全体の37%を占め全体では19万5千人の入場者となっております。また、教育旅行も5万4千人(4.8%増)となっております。

2020年(平成32年)に民族共生象徴空間の中核施設「国立アイヌ民族博物館」が完成する予定であり観光客の受入れ体制と共にPR活動の強化を図ると共に、登別洞爺広域観光圏協議会や登別市・白老町観光連絡協議会との広域連携を最大限に活用しながら道内外の誘客活動を実施してまいります。

2016年3月に新青森・新函館北斗間の北海道新幹線が開業し、北海道新幹線×n i t t a n地域戦略会議等と連携を図りながら、2次交通としてのレンタカーにも力を入れた誘客活動を実施してまいります。

●虎杖浜地域への対策としては、虎杖浜竹浦観光連合会と共に、昨年に引き続き、源泉かけ流し宣言をした虎杖浜温泉の魅力アップを図りながら、虎杖浜かに・たらこ・温泉三大祭りや日帰りバスツアー等の開催、更には、温泉誘導看板の設置を行い全体の入込客の増につなげていきたい。

●2000年の森ポロト自然休養林については、子どもゆめ基金を活用した自然体験キャンプの実施や冬の風物詩となっているポロト湖のワカサギ釣りを実施し、入込増を図ってまいります。

●白老町には、四季折々の魅力あふれる豊かな自然や観光資源、特産品がたくさんあります。地方創生加速化交付金を活用した観光協会ホームページリニューアル事業や観光プロモーション用アーカイブ化事業を実施すると共に、昨年に引き続き、ふるさと納税「白老町ふるさとGENKI応援寄付金」の特産品発送を実施し、白老町を全国にPRしてまいります。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000 円
○旅行情報誌掲載事業	270,000 円
○各種観光事業集客広告事業	100,000 円
○誘導案内看板管理事業	133,000 円
○インターネット事業	80,000 円
○ぐう旅北海道掲載事業	100,000 円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、登別市・白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業に協賛して白老町への誘客を促進するとともに、白老観光協会が独自に主催する共同誘致キャンペーンによる誘客促進と各事業者のホスピタリティ醸成が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘致事業	360,000 円
○虎杖浜温泉PR看板設置事業	1,000,000 円
○ホームページリニューアル事業 ※地方創生加速化交付金	2,100,000 円
○インバウンド誘客活動事業 ※地方創生加速化交付金	400,000 円
○観光プロモーション用画像アーカイブ化利活用事業 ※地方創生加速化交付金	2,400,000 円
○道内外特別誘客活動事業 ※白老町観光誘客推進会議	1,000,000 円
○多言語白老観光リーフ増刷事業 ※白老町観光誘客推進会議	715,840 円
○虎杖浜温泉観光活性化事業 ※白老町観光誘客推進会議	600,000 円

(北海道観光振興機構、登別市・白老町観光連絡協議会、登別洞爺広域観光圏協議会等)

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」(年1回)	10,000 円
--------------------	----------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集める「まつり・イベント」は、情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協賛し、観光情報の提供のための観光案内所を設置するとともに町内の各施設へ誘導するための施策を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第27回白老牛肉まつり	6月	
○第5回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり	8月	
○2016年元気まちしらおい港まつり	7月	100,000円
○2016 BikeJIN 祭り in 北海道@白老	9月	200,000円
○第39回登別漁港まつり	9月	
○第28回しらおいチェブ祭	9月	

5. 収益事業管理

ポロト地区への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する収益事業を行います。また、地域コーディネート機能の役割を中心とし職業体験や鮭遡上見学や白老ねっと商店等販売を推進しながら収益金の一部を一般会計へ繰り入れし、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと2000年の森管理業務（指定管理者5カ年）	9,690,000円
○自転車・カヌー貸付事業	90,000円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000円
○ワカサギ釣り事業	1,271,000円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	250,000円
白老町ふるさと GENKI 応援寄附金事業（ふるさと納税）	
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学）	10,000円

6. その他

◇取り組みの事業概要

○観光資源推進活動調査費	50,000円
○ポロトの森自然体験キャンプ2016	467,000円

7. 会議等

◇主な会議の概要

- 通常総会
- 三役会
- 理事会
- 専門委員会 ・専任制委員会 ・白老町宣伝誘客推進会議
・しらおい道の駅開設準備検討会
- 各所属団体会議